

横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場

平成 24 年度 事業報告

1 平成 24 年度総括

【事業の総括】

第 2 期指定管理 3 年目は、「そだつ～ささえる」から「ささえる～つながる」へ重点を移し、今後の地域文化の担い手として、地域とのつながりを深めていくための『杉劇☆歌劇団』の結成や、地域の方々の交流や情報交換の場として『杉劇ちょこっとカフェ』の開催など、今後につながる新たな展開が始まりました。そのほか、海外のアーティストと地域の方々、生徒たちが交流をしながら同じ舞台での演奏が実現した『世界とつなぐ杉劇フレンドシップコンサート』など、地域と人、人と人とのつながりを広げることができました。

【運営の総括】

第 2 期開始より杉田劇場の運営を支援いただき、事業連携を行ってきた「杉田劇場と歩む区民の会」から、より主体的に地域の文化振興を担っていく組織「特定非営利活動法人チーム杉劇」が生まれ、杉田劇場を中心に地域の文化振興をさらに進めていく土台を整えることができました。地域文化コーディネーターや受付を担う杉劇こんしえるじゅが中心となって運営を行ったほか、杉劇@助っ人隊の方々の事業や運営に対する積極的な参加もみられ、地域の方々との距離の近い運営が推進されました。

【管理の総括】

共同事業体間での連携・協力により、建物の修繕・保守を徹底し、利用者が安心して利用できる施設管理に努めました。また、帰宅困難者受け入れや津波時の避難場所など、災害や緊急時にスムーズに対応できるよう、地域と連携した危機管理体制の整備を進めたほか、日頃から防犯・防災などの意識づけを地域の人々に働きかけるなど、地域施設としての役割を果たしました。

2 自主事業に関する振り返り

(1) こどもからお年寄りまで区民が集う拠点づくり

- 「ひよこコンサート」、「ロビーパフォーマンス」、「フレンドシップコンサート」など、幅広い世代を対象に、新たな観客や人材を積極的に呼び込む仕組みづくりをします。
- 「杉劇リコーダーズ」、「開館 8 周年記念事業」を始めとし、こどもからお年寄りまで幅広い世代を対象に参加型事業を開催します。

| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
|--|---|
| <p>■ 子育て世代やこども世代を対象とした事業を年間 8 回以上実施。家族や学校の中だけでない、幅広い人と人とのつながりをつくることで、地域とつながる拠点としての機能を発揮します。</p> <p>■ 参加型事業の区民参加人数 480 人以上(昨年度目標 450 人)。こどもから大人までの幅広い世代がともに創造できる場をつくることで、異世代間交流を促します。</p> | <p>■ 子育て世代・こども世代を対象とした事業:年間 9 回</p> <p>ひよこコンサートは毎回多数の方にご来場いただき、親子そろって楽しめる場として定着してきています。プレまぼコンサートやロビーパフォーマンス、新規事業『杉劇ちょこっとカフェ』での子育て支援のテーマの取り上げなど、単純に子育て世代対象ではなく、多様な世代に働きかけることで、幅広い世代がつながる拠点としての機能が発揮できました。</p> <p>■ 区民参加人数:年間約 700 名以上(夏・冬まつりの参加型事業のべ人数含む)</p> <p>参加型事業は、『杉劇リコーダーズ』、今年度新規事業の『杉劇☆歌劇団』、ワークショップ後舞台上でプロアーティストと競演するパーカッション WS など、参加者を募って実施するものから、『夏まつり』『冬まつり』での参加・体験事業、毎月のロビーパフォーマンスなど気軽に参加できるもの、リコーダーの愛好家たちが集う『リコーダーフェスティバル』など、様々な参加のかたちを展開しました。特に歌劇団では、こども大人が稽古を重ねひとつの舞台を創り上げ、今後の展開にもつながるものとなりました。</p> |

(2) 人材育成活動

- 「杉劇@助っ人隊」など、参加者から主体的に活動を行う地域の担い手へと段階を経た人材育成事業を運営します。「地域文化コーディネーター」がファシリテーターとなり区民が次の段階へとステップアップするように常に意識しながら、人材育成事業を運営します。
- 杉劇に集まる子どもたちとの対話を大事にし、子どもたちの自主的な活動を育て、子どもたち目線での施設運営や事業に活かしていきます。
- 地域での仕事や、アートマネジメントに対する理解を深められるよう、小・中学校、高校、大学から一般の方まで、積極的にインターンや職業体験を受け入れます。また、「舞台技術ワークショップ」なども行い、施設運営全般における人材の育成も進めます。
- 事業運営・実施等においての人材育成だけでなく、質の高いコンサート実施や若手アーティストの活躍の場を提供することによって、杉田劇場に集まる人々の拡大とアーティスト支援につなげます。

| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■「杉劇@助っ人隊」が携わる事業を年間 10 回以上実施。地域の力・区民の力を活用することで、区民の主体的な事業や運営への参加を推進します。 ■子どもたちの発案や運営による自主的活動を年間 3 回以上開催。子ども世代が集う仕組みをつくります。 ■区内の小中学校の職業体験と大学生インターンシップ受け入れ人数 10 名以上。地域文化のコーディネートやアートマネジメントに対する理解や興味をもっていただくことで、芸術文化を振興する人材育成の第 1 歩とします。 ■若手アーティストを支援するコンサートを年間 3 回以上開催。クラシック系のコンサートを年間 5 回以上開催。杉田劇場に集まる人々やスマイルクラブ会員の拡大、アーティストの発掘など、杉田劇場を支える人々を広げていきます。 | <ul style="list-style-type: none"> ■杉劇@助っ人隊が携わる事業:年間 40 回 『杉劇@助っ人隊』は、40 名程の登録者を教え、公演時の表方やまつりの運営から、事業の補助、施設内の装飾などのほか、コンサートへの寸劇出演やロビーパフォーマンスではあそびを考え子どもと触れ合う姿が見られるなど、積極的に関わっていただく場面が生まれてきました。今後の助っ人隊の主体的参加の方向性が期待できる展開を実現することができました。 ■子どもたちの自主的活動:年間 3 回 『杉劇リコーダーず』OB・OG による練習・演奏会の手伝いや、職場体験にいらした中学生が学校活動とは関係なくまつりのお手伝いに来てくれたほか、『杉劇☆歌劇団』では子どもがダンスリーダー的役割を果たし、大人にもダンスを教える場面もあり、子どもの力を地域で発揮していただくことができました。 ■職場体験・インターン受入れ:年間 8 校 17 名 こういう仕事に興味がある生徒から、どんなところか知らなかった生徒まで、様々な方に事業や運営を体験いただきました。事業を実施する手順や、お客様を迎えるにあたっての心得、体験いただいている業務は何のために必要かなどを説明する中で、地域とのつながりやアートマネジメントという仕事に興味を持っていただけました。 ■若手アーティスト支援コンサート:年間 5 回 クラシック・ジャズ系コンサート:年間 7 回 若手アーティスト支援コンサートは集客では苦戦しましたが、広く地域の方が集まるまつりでのワークショップを行っていただいたり、海外アーティストとの共演の場をつくるなど、各アーティストに合った支援のしかけをつくることができました。 クラシック系のコンサートは、上質なコンサートの鑑賞を望む層に働きかける内容を実施し、スマイルクラブ会員の獲得にもつながりました。 |

(3) 地域活動・芸術文化活動の支援

- アウトリーチ事業「杉劇たまたま箱」や地域文化コーディネーターの専門性を生かした、地域の芸術文化相談・サポート事業「文化 de おじゃまし隊」により、地域へ出て行き、ニーズにあった事業実施や、コーディネートを行います。
- 過去に「いそご文化資源発掘隊」で発掘された寺院、商店街など地域の文化資源を自主事業やアウトリーチ事業に活用できるように整理・調整します。
- 「イメージ ISOGO」など地域で活動する団体が行う事業に協力し、地域を一緒に盛り上げていきます。
- 芸術文化にとらわれず、福祉（「ノーマライゼーション事業」）、子育て支援、高齢者支援など異なる分野へのアプローチも積極的に行います。
- 警察や消防、学校などと連携し、活動紹介や協働事業を通して地域の活動を広げていきます。

| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■地域の活動支援、地域の文化資源を活かした施設外でのアウトリーチ事業を年間 10 回以上実施。 ■「いそご文化資源発掘隊」パンフレットの作成。文化資源発掘、及び活用事業を年間 5 回以上実施。地域の人々が地域を再発見できるものとします。 ■地域で活動する団体への支援事業を年間 3 回以上実施。 ■異分野との連携事業を年間 3 回以上実施。芸術文化が様々な社会的課題につながるという認識を広めます。 ■行政分野（警察・消防・学校等）との連携事業を年間 2 回以上実施。地域活動のネットワーク拡大につなげます。 | <ul style="list-style-type: none"> ■アウトリーチ事業:年間 20 回以上 アウトリーチ活動として、出張演奏『杉劇たまたま箱』、杉劇リコーダーズの出張演奏など、様々なかたちで地域のニーズに応えることができました。また、『横浜市芸術文化教育プラットフォームによる学校プログラム』では区内の 2 校を担当。講師は地域で活動している方をお願いし、学校（先生・子どもたち）と地域のアーティストとの橋渡しにもつながりました。 ■「いそご文化資源発掘隊」:年間 1 回。 地域の方を案内人に迎え、周辺地域の資源の再発見に出かけました。今後も新たな資源の発掘や活用・継承、これまでの検証など検討する必要があります。 ■地域で活動する団体支援事業:年間 2 回 事業制作について支援した事業は 2 件にとどまりましたが、磯子区共催の『いそご芸術文化祭』への発表会場の優先提供など区との連携や、自主事業の参加者から生まれた団体にも協力しました。 ■異分野との連携事業:年間 6 回 まつりでの警察展示や地域作業所の出店、福祉施設での出張演奏、杉劇リコーダーズによる、地域の道路清掃活動などを行う“ハマロード・サポーター”の一員としての、道の日イベントでの演奏、プレまばコンサートでの消防署員のお話など多岐に渡りました。 ■行政分野との連携事業:年間 8 回 異分野連携と重なるもののほか、特に警察に関しては、地域防犯連絡所として、日ごろの防犯情報の掲示や、磯子署員と杉田劇場職員によるコラボレーション演奏による、防犯よびかけなどに対し、警察署長より表彰いただくなど、地域のネットワーク強化につながりました。地域の学校とは『世界とつなぐ杉劇フレンドシップコンサート』や芸術文化教育プラットフォームでの学校連携により、子どもたちの創造性を引出すとともに、地域の方との触れ合いを提供することができました。 |

(4) 地域ネットワーク形成

- 「杉劇×せんせいミーティング」、「フレンドシップコンサート」等を通し、学校連携を深めます。「杉劇×せんせいミーティング」では、直接現場の先生方と交流し、地域の情報交換を行うと共に、学校と杉田劇場の関係を強化します。
- 磯子区区民利用施設連絡会を通して図書館やスポーツセンターなど、今まで連携のなかった区内の施設と連携・協働事業を行

います。

- 杉田劇場と地域とのつながり、「杉劇リコーダーズ」から派生した区外とのつながりを継続します。そのつながりや活動を区内外に発信します。
- 「夏まつり」や「冬まつり」など、地域の様々な人々、団体が出会う場を通し、コミュニティの形成や活性化を促進します。
- 国際交流につながる事業を地域との協働で行います。

| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">■「杉劇×せんせいミーティング」による事業実施 年 3 回以上。また、現場の声を次の事業へ活かせるよう情報を収集していきます。■区内他施設との連携事業を年間 1 回以上実施。地域全体でのネットワーク強化をはかります。■区民との協働事業、区民が提案し企画運営を行う事業を年間 5 回以上実施。区民とのつながりの強化と地域の活性化、まちづくりへとつなげます。■地域協働事業や区外との連携事業をホームページ、通信、館内掲示にて発信。■国際交流事業 年 1 回実施。磯子と世界をつないでいきます。 | <ul style="list-style-type: none">■『杉劇×せんせいミーティング』関連事業:年間 6 回 まつりでの近隣小学校や中学校の音楽系クラブの出演にあたり、学校への呼びかけや連携をはかりました。特に『世界とつなぐ杉劇フレンドシップコンサート』では、海外で活躍するアーティストの指導が、吹奏楽部顧問の先生にとっても刺激的で、貴重な体験につなげることができました。■区内他施設との連携事業:年間 3 回以上 区民利用施設館長連絡会での連携や、上中里地区センターへの出張『杉劇ちよこつとカフェ』など、相互の交流できるプログラムに取り組みネットワーク拡大をはかりました。■区民との協働事業:年間 11 回以上 地域の方々とのネットワーク形成・交流の場を目的とした『杉劇ちよこつとカフェ』を新規に実施。毎月様々なテーマ設定で交流を始め、次のテーマ展開が生まれるなど、継続したつながりが少しずつ創られてきました。■ホームページを 7 月にリニューアル。杉田劇場の取組みを以前よりわかりやすく発信できたほか、杉田劇場の取組みや事業の様子を館内掲示することで、今後につながる発信を行いました。■国際交流事業:『世界とつなぐ杉劇フレンドシップコンサート』は、海外のアーティストと地域で活動する吹奏楽団、近隣中学校の吹奏楽部が一同に会し、共に演奏する場を提供し、海外・地域・子どもたちという、特色ある音楽による交流と発信につながりました。 |

(5) まちづくりへの貢献

- 開館 10 周年(平成 26 年度)記念事業を見据えたプロジェクトを開始します。開館 10 周年での、杉田劇場を中心に地域の各所を会場にしたフェスティバル開催を目指し、フェスティバル出演者募集及びワークショップを行います。
- 横浜市の都市戦略事業「ヨコハマ・アート・フェスティバル」の一環として開催される『ダンス・ダンス・ダンス』との連携事業に取り組みます。
- 同じく横浜市の都市戦略的な事業である「横濱ジャズブロード」に対する協力体制を整えます。

| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none">■ダンスと歌のワークショップ実施。『杉劇歌劇団』を結成し、地域での活動も視野に、10 周年事業に参加するチームを形成します。■『ダンス・ダンス・ダンス』との市民参加事業に参加。都心部でのフェスティバルを地域の方々にも紹介します。■「横濱ジャズブロード」開催にあたっての、運営・広報 | <ul style="list-style-type: none">■『杉劇☆歌劇団』は 2 月に結成お披露日会を実施。子どもと大人、講師陣を交えた稽古・交流を経て、地域ならではのチームの結成ができました。26 年度の開館 10 周年事業や地域での活動に向け、地域の方々へのアピールにつながりました。■『ダンス・ダンス・ダンス』参加事業として、8 月のロビーパフォーマンスに合わせて、隣接する保育園児を対象に、アーティストによ |

| | |
|---------------|--|
| <p>等への協力。</p> | <p>るダンスワークショップを実施。アーティストと子どもたちの触れ合いだけでなく、子どもの創造性がアーティストにも刺激になるような事業となりました。</p> <p>■『横濱ジャズプロムナード』開催にあたっては、2名が当日運営に参加したほか、預りチケット販売、それに伴うメールマガジンでの広報など協力しました。</p> |
|---------------|--|

3 施設の運営に関する振り返り

(1) 開館営業

- 開館日・休館日
施設の安全維持と衛生管理のため、年間20日間ほどの施設点検を実施し休館日とします。それ以外は、開館営業日とします。
- 利用時間
午前9時から午後10時を基本開館時間とし、それ以外の時間の施設利用希望があった場合、柔軟に対応します。
- 利用率の低い室場について、利用を促進するよう企業や団体等に働きかけます。

| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ■開館日数 345日 ■稼働率 ホール 75%(日)、65%(コマ) ギャラリー 95% リハーサル室 80% 会議室 60% 練習室 95% ■利用料金 目標額 22,000千円 | <ul style="list-style-type: none"> ■年間施設利用率 ギャラリーを除き、23年度より微増 ホール 78%(日)、64%(コマ) ギャラリー78% リハーサル室 74% 会議室 64% 練習室 94% ■施設点検日には、共同事業体である東急コミュニティー等により、適切に点検等を行いました。 ■ホール利用については、事前に打合せを行い、ご要望については、柔軟な対応を行いました。 ■利用料金収入:20,451千円。 |

(2) 運営体制

- 館長、副館長を中心に、受付業務・チケットセンター業務・広報業務・環境改善業務を行う「杉劇こんしえるじゅ」、事業運営・地域ネットワーク窓口「地域文化コーディネーター」それぞれが、連携をはかりながら個々に自覚を持って役割を果たします。
- 共同事業体の舞台技術を行う「有限会社アイコニクス」、設備管理を行う「株式会社東急コミュニティー」と情報を共有しながら業務改善に努めます。

| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■情報共有のための連絡会を毎週実施。年間3回以上の全スタッフミーティング実施。業務改善や事業検討の場とするとともに、チームワークも強化します。 ■共同事業体3社間による業務改善会議等の実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ■全スタッフミーティング:年間3回 職員ミーティング(舞台スタッフ、杉劇こんしえるじゅ含む)は、基本的に毎週1回定例で行い、情報共有に努めました。毎週ということで、出勤している者のみでの実施となりましたが、事前の連絡事項集約、議事録回覧などスタッフ間のつながりの強化をはかりました。 ■舞台スタッフについては、常駐しているため、通常のミーティング、日頃の相談など連携をはかり、業務改善につなげました。設備管理については、月1回の打合せ日を設け、情報共有、相談 |

| | |
|--|---|
| | 等を行うとともに、月1回の点検時にも技術的な相談等を行い、施設のよりよい運営につながりました。 |
|--|---|

(3) 来館者・利用者ニーズの把握

| ●スタッフ間での情報交換・情報共有を強化し、利用者、来館者の生の声を把握し、施設運営にフィードバックします。 | |
|---|--|
| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
| <ul style="list-style-type: none"> ■「杉劇こんしえるじゅ」「地域文化コーディネーター」が収集した来館者・利用者ニーズを定期的にまとめ、業務改善や事業実施に反映させます。 ■ニーズを把握する新たな手法を検討・試行します。 | <ul style="list-style-type: none"> ■「杉劇こんしえるじゅ」と「地域コーディネーター」間では、適宜情報交換を行い、利用者や地域の人々の声を収集し、施設運営や事業に活かすよう努めました。今年度からこんしえるじゅにリーダー制を導入し、こんしえるじゅ業務担当職員とこんしえるじゅリーダーとの月1回のミーティングや、こんしえるじゅのみのミーティングで、受付業務のすり合わせ、業務改善事項など集約し、受付スタッフの主体性を引き出すことができてきました。 ■ニーズ把握については、杉劇@助っ人隊にお手伝いいただいた際にかかわらずアンケートに協力いただき、利用者・来館者の観点、事業に携わる側の観点がうかがえる貴重なデータを蓄積することができました。今後の検証や分析が課題となっています。 |

(4) 区民をもてなす接客

| ●「地域文化コーディネーター」、「杉劇こんしえるじゅ」が、お客様に対し、どんな場面においても迅速で丁寧な対応が行なえるよう、各種研修を実施します。 | |
|--|---|
| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
| <ul style="list-style-type: none"> ■防災訓練 年2回実施。 ■接客研修 年間2回以上実施。実践で役立つ内容とし、定期的なチェックも行き、接客レベルの維持・向上をはかります。 ■受付マニュアル見直しによる、マニュアル改訂・運用。 | <ul style="list-style-type: none"> ■入居する建物全体の防災訓練への参加と、避難経路の確認を行いました。防火・防災管理者の変更に合わせて、消防計画を見直し、スタッフへの周知も行いました。 ■接客に関連した研修:年間2回以上。 接客にかかわるコミュニケーションや、貸館の対応など実践的な内容の研修を行いました。新しいスタッフにはベテランスタッフがつき、教える側にも日頃の業務のチェックにつながる体制を整えました。 ■受付業務マニュアルは、来年度新規のスタッフ配置に向け、3月末までに改訂を行い、より実態に即したマニュアルとして準備を整えました。 |

(5) 情報コーナーの活用

| ●ギャラリーの壁面に展示できない立体的な作品や個人の制作物で展示したいという区民ニーズを受け、「杉劇一坪ギャラリー」としてロビーを活用し、地域の人々の活動支援や、情報コーナーのにぎわいにつなげます。 | |
|---|------------|
| ●杉田劇場の情報、磯子区内施設連携の情報コーナー「いそっぴらつく」、スポンサー企業コーナーなど、情報発信コーナーの整備・整理を行います。 | |
| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |

| | |
|--|--|
| <p>■一坪ギャラリーの継続的な運用。様々なジャンルを紹介し、地域の人々の文化活動の支援につなげます。</p> <p>■チラシラック・掲示板、ロビーモニターを効果的に活用し、施設案内だけでなく、事業紹介や地域活動紹介を行います。</p> | <p>■『杉劇一坪ギャラリー』を10月から開始し、出品者のべ18名。様々なジャンルの小物作品の展示を、毎月数点展示できるスペースとして、個人で製作しているような地域の方々の作品発表の場につなげることができ、来館者と出品者の新たなつながりが生まれたケースもできました。</p> <p>■杉劇コーナーは、杉田劇場の自主事業を中心に、“館長のおすすめ”と銘打ち、地域のおすすめ情報も提供しました。ロビーモニターでも施設案内のほか、おすすめ公演情報を流し、効果的に活用しました。</p> <p>■子育て支援関連スペースを設け、当館によく来館するベビーカーでの来場者でも情報を入手しやすいレイアウトにしています。</p> <p>■多方面からお預かりするチラシの数が膨大であるため、掲出期間等を精査するとともに、日頃の整理やジャンル分けにより、ニーズに合ったものを見つけやすいよう管理を徹底しました。</p> |
|--|--|

4 施設の管理に関する振り返り
(1) 建物管理について

- 開館8年目を迎え、直近の中小規模の修繕に着手し、22年度に計画した、中長期の修繕計画に基づき、修繕・保守等を実施します。
- 予防保全に基づく保守点検の実施

| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
|---|--|
| <p>■設備機器の中長期修繕計画の更新。</p> <p>■予防保全に基づく保守点検の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間保守計画の作成(年1回) ・月間業務計画の立案(年12回) ・建物管理専門スタッフによる巡回設備点検(年12回) ・月次報告書の作成(年12回) <p>■清掃インスペクション(検査)の実施(年4回)</p> | <p>■中長期修繕計画については、空調等に関わる部分は、共同事業体である東急コミュニティーにより提示されているものをさらに優先順位をつけ、また相談しながら対応しました。その他、舞台・照明・音響等も保守点検業者と相談しながら、中長期的な設備更新時期の提案をいただいています。</p> <p>■保守点検については、年間計画に基づき実施を行っています。建物の点検等については、月間業務計画は毎月事前に東急コミュニティーより提示をいただき、適切に実施しました。</p> <p>■建物・設備の巡回点検は、奇数月を開館日に、偶数月を休館日に行うことにより、施設のあらゆる状況における状況を把握・点検しています。</p> <p>■清掃検査については、定期清掃(年3回)時のほか、適宜東急コミュニティー及び清掃業者の責任者が点検を実施しました。</p> |

(2) 防犯・防災・災害対策について

- 横浜市防災計画、指定管理者災害対応の手引き等に基づき、消防計画や災害マニュアルの見直しを行います。
- 災害時の帰宅困難者一時滞在受入や、津波時の避難施設として、またその他、市・区等の要請に応じ連携を図り、協力体制を構築します。
- 地域の方々が集まる施設として、警察署や消防署と連携し、防犯・防災に関する呼びかけを広く行います。

| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
|------|------------|
|------|------------|

| | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ■防災に関する訓練・研修 年2回実施。 ■消防計画・災害時マニュアルの見直しによる改訂と職員・スタッフへの周知を行い、災害時対応を確認します。 ■地元消防署、警察署との連携事業実施。施設での緊急時の適切な対応のため連携を深めるとともに、地域の防災・防犯意識の向上に協力します。 | <ul style="list-style-type: none"> ■防火・防災管理者の変更に合わせ消防計画を見直し、改訂した計画はスタッフに周知を行いました。研修ではありませんが、事業の中で“防災と減災”をとりあげ、地域の方々とともに防災を考える中で施設の防災や減災の考え方も深まりました。 ■帰宅困難者一時受入れについて、磯子区と協定を結び、それに伴い備蓄品も備え、緊急時に連携をはかる体制を整えました。 ■地元警察や消防とは、事業面で様々な連携をはかるとともに、地域防犯連絡所として、広報印刷物の掲出など、地域の防災・防犯意識の向上の一助を担っています。 |
|--|--|

| (3) 管理組合等とのネットワーク構築 | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●相互案内や危機管理体制ができるように、らびすた新杉田管理組合や近隣商店街、近隣地域施設などと連携します。 | |
| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
| <ul style="list-style-type: none"> ■「らびすた新杉田店長会議」への出席(年12回)により、情報交換や事業・広報等での連携を強化します。 ■「区民利用施設館長会議」へ出席し、地域の情報収集や広報協力などネットワークを形成します。 | <ul style="list-style-type: none"> ■当施設が入居する、らびすた新杉田店長会議へ毎月出席し、建物全体での情報交換・共有や、イベントなどへの参加で連携を深めました。 ■区民利用施設館長連絡会に毎月出席し、区民利用施設間の情報交換を行い、連携事業等につながりました。 ■近隣のおまつり等での事業連携のほか、気仙沼の被災地支援等で、商店街や地域の方と連携をはかり、地域と協働で被災地支援につなげています。 |

| 5 その他に関する振り返り | |
|---|--|
| (1) 「杉田劇場と歩む区民の会」との連携 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ●「杉田劇場と歩む区民の会」と協働で行う事業を展開し、連携を深めることで、地域の様々な場面で地域の人々とつながりを拡大していきます。 ●地域文化コーディネーターを中心に、杉田劇場が地域の文化拠点としていっそうの機能を発揮するよう、地域の文化振興のあり方等を含め、今後の運営を検討していきます。 ●各事業において、「区民の会」の協力を得ながら、ニーズの把握や事業内容の向上をはかっていきます。 | |
| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
| <ul style="list-style-type: none"> ■区民との協働事業、区民が提案し企画運営を行う事業を年間5回以上実施。 ■区民の会の運営検討会(会議) 月1回 ■区民の会を交えた磯子区との意見交換 年2回以上。区全体で文化振興を考える場とします。 ■区民の会メンバーによる事業評価を年5事業以上実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ■区民との協働事業:年間10回以上 「杉田劇場と歩む区民の会」は、設立から2年、さらなる展開に進むため5月に解散し、より地域力・区民力を活かした運営及び地域文化振興を行う組織「特定非営利活動法人チーム杉劇」が2月に設立認証されました。今後はよりフットワーク軽く地域とのつながりを深めていくことができる展開を進めていきます。 ■「区民の会」の目的でもあった地域の活動の横のつながりや交流・情報交換をするために新規開始した『杉劇ちよこっとカフェ』は、6月より毎月様々なテーマ設定で、今後の新たな展開へのつながりも生まれました。 ■区民の会メンバーに行っていただく予定だった事業評価は、評価シートの書式作成にとどまってしまうりましたが、今後別の形で評価者を設定していくことを検討します。助っ人隊については、 |

| | |
|--|---|
| | 毎回お手伝いいただいた後、アンケートを実施し、以降の事業運営等の改善につなげています。 |
|--|---|

| (2) エコロジーへの取り組み | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●横浜市が策定した「ヨコハマ 3R 夢プラン」に基づき、磯子区とも連携し、エコロジー活動に取り組みます。 ●職員をはじめ、来館者・利用者への省エネ、環境コスト削減への意識改革をはかる「すぎげきエコ」を行います。 ●日常業務で使用する消耗品は、再利用製品や省資源・低公害製品を積極的に導入していきます。 ●共同事業体とともに、エネルギー使用量の分析を行い、省エネ策を実行します。 | |
| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
| <ul style="list-style-type: none"> ■「すぎげきエコ」活動(紙・封筒等の再利用、利用者へのゴミ削減の呼びかけ等)の実施。 地域でのエコイベントへの参加。 ■消耗品の再生品、省資源製品、低公害製品の購入(10品目)。 ■エネルギー使用量の記録、分析(適宜)による使用量の削減。 | <ul style="list-style-type: none"> ■日々のゴミ分別、紙・封筒の再利用はもちろん、昨年度に引き続き、節電対策として、利用の妨げとならない程度の照明の間引き、グリーンカーテンの取り組みなどを継続実施しました。 ■磯子区の 3R 夢戦隊“磯子マモルンジャー いそごエコ体操”の作曲に杉田劇場スタッフが携わるなど区のエコロジー活動との連携・協力を行いました。 ■また、「ゴミはお持ち帰り」を呼びかけることで、ゴミそのものの削減を推進しています。そのほか、「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」に参加し、回収箱を設置しています。 ■エネルギー使用量については、毎月記録し、削減にも努めましたが、利用に左右される部分もあり、明確な使用量削減にはつなげることができませんでした。今後も削減に向け、設備担当者(共同事業体)と相談していきます。 |

| (3) 友の会運営 | |
|---|--|
| ●杉田劇場オリジナルの友の会組織「杉田劇場スマイルクラブ」の継続と会員獲得のため、会員の要望が高い事業に取り組みます。 | |
| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
| ■登録会員数の5%増加(210名→220名) | ■2013年3月現在、会員数230名弱。会員割引を設定する自主事業のほか、貸館においても会員料金設定への協力をお願いするなど、会員の方々に様々なジャンルをお楽しみいただく工夫に努めました。 |

| (4) メールマガジン運営 | |
|---|--|
| ●「ひよこメール倶楽部」(小さいお子様でも楽しめる催し物情報を配信)、「メルがま」(杉田劇場の各種芸術文化情報を配信)を運営し、ニーズに合わせて、各メールリストを有効に活用し、情報の提供とチケットの販売促進につなげます。 | |
| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
| <ul style="list-style-type: none"> ■ひよこメール倶楽部会員:登録会員数5%増加 (登録アドレス410→430) ■メルがま会員:登録会員数5%増加 (登録アドレス380→400) | <ul style="list-style-type: none"> ■ひよこメール倶楽部会員(登録数)2013年3月現在570名。ひよこメール倶楽部会員には、ひよこコンサート等の催しをチケット一般発売に先行して、情報提供、チケット販売を行っており、集客や、会員増につながりました。また子育て支援関連の事業全般への集客に対し、有効な媒体として活用することができました。 ■メルがま会員(登録数)2013年3月現在496名。メルがま会員のチケット先行発売などがないため、会員の反応が見えにくい状況となっていますので、会員数増のほか会員特典の新たな開発 |

| | |
|--|--------------|
| | などを検討していきます。 |
|--|--------------|

(5) 企業協賛

●杉田劇場の協賛・支援窓口となる「スマイルファンド」を継続し、協賛金だけでなく地域からのご支援(現物協賛)獲得に努めます。

| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
|--|--|
| <p>■スマイルファンド強化 (協賛金・現物協賛含め 1,000 千円以上)</p> | <p>■夏まつり、冬まつりでは、地域の方々を中心に数多くの関係各所からご支援をいただきました。(現物協賛含み 376,835 円相当)</p> <p>■地域からのご支援をいただけるよう、地域の企業が集まる事業会への参加や、事業会のみなさまに杉田劇場や地域のアーティストを応援していただけるようご招待として事業をご案内するなど、地域との連携を深めました。</p> |

6 収支に関する振り返り
(1) 外部資金の獲得

●助成金を獲得できるような事業を企画し、資金を獲得していきます。

●外部への出張演奏や、企画制作の請負など地域とのつながりの中での資金獲得のほか、芸術文化とは異なる分野への働きかけにより、指定管理料以外の資金での事業展開も行います。

| 達成指標 | 事業報告(振り返り) |
|--|---|
| <p>●助成金獲得 2 事業</p> <p>●外部資金の獲得(1,000 千円以上)</p> | <p>■助成金: 芸術文化振興基金 500 千円 / 財団法人地域創造 1,300 千円</p> <p>■夏まつりで 181,835 円相当を、冬祭りでは 195,000 円相当をそれぞれ現物協賛として提供いただきました。</p> |

横浜市磯子区民文化センター 杉田劇場

平成24年度 自主事業一覧

■芸術文化の創造及び発信(新進芸術家発掘)

| NO. | 開催日 | 事業名 | 会場 | 入場料・受講料(¥) | 入場者数(名) | 主催、共催など |
|-----|---------------|--|--------|-------------|---------|------------------|
| 1 | H24年8月12日(日) | 若きヴィルトーゾの響きシリーズVol.1 山根一仁ヴァイオリンリサイタル | ホール | 1,000~2,000 | 290 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 2 | H24年9月14日(金) | 若きヴィルトーゾの響きシリーズVol.2 2012年ソウル国際音楽コンクール最年少優勝 毛利文香 凱旋コンサート | ホール | 1,000~2,000 | 200 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 3 | H24年10月6日(土) | 若きヴィルトーゾの響きシリーズVol.3 松尾俊介ギターリサイタル | ホール | 1,000~2,000 | 200 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 4 | H24年12月18日(火) | 若きヴィルトーゾの響きシリーズ番外編 毛利文香 & ブラハバロック合奏団 | ホール | 4,500~4,000 | 176 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 5 | H25年3月28日(木) | 若きヴィルトーゾの響きシリーズVol.1 山根一仁ヴァイオリンリサイタル | リハーサル室 | 500 | 50 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |

■芸術文化の創造及び発信(芸術文化へのアクセス拡大)

| NO. | 開催日 | 事業名 | 会場 | 入場料・受講料(¥) | 入場者数(名) | 主催、共催など |
|-----|-------------------------------|--|-----------|-------------|---------|--|
| 1 | H24年12月22日(土) | 杉田劇場開館8周年記念 世界とつなぐ杉劇フレンドシップコンサート 磯子とロシアの華麗なる響き | ホール | 500 | 222 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 2 | H24年4月19日(木) ~H25年3月21日(木) | ロビーパフォーマンス2012 | ロビー | 無料 | 549 | 主催:横浜市磯子区民文化センター 協力等:[協力] 新杉田のびのび保育園 |
| 3 | H24年10月7日(日) | 杉劇アフタヌーンカフェ2012 | リハーサル室 | 5,500~4,000 | 34 | 主催:株式会社アルス東京 共催:横浜市磯子区民文化センター |
| 4 | H24年7月1日(日) | ママたち賛歌 プレまば☆コンサート4 | リハーサル室 | 300~700 | 17 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 5 | H24年11月3日(土) | ママたち賛歌 プレまば☆コンサート5 | リハーサル室 | 300~700 | 21 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 6 | H24年6月26日(火) | ひよこコンサート 出前スペシャル(茅ヶ崎) | 茅ヶ崎市民文化会館 | 500 | 740 | 主催:杉劇ひよこコンサート実行委員会 共催:横浜市磯子区民文化センター |
| 7 | H24年7月12日(木) | ひよこコンサート ポコポコトココ どんな音 | ホール | 300~700 | 416 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 8 | H24年10月25日(木) | ひよこコンサート ともとのガラクタ音楽隊 | ホール | 300~700 | 499 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 9 | H24年12月20日(木) | ひよこコンサート さっこさんとメリークリスマス | ホール | 300~700 | 606 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 10 | H25年3月7日(木) | ひよこコンサート 春よこい! 吹奏楽だ! ぶっぶくぶうト | ホール | 300~700 | 299 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 11 | H24年6月27日(水) | 音のパレットVol.3 アナ・ヴィドヴィチ ギターリサイタル | ホール | 3,000~3,500 | 296 | 主催:株メロス・アーツ・マネジメント 共催:横浜市磯子区民文化センター |
| 12 | H24年10月19日(金) | 音のパレットVol.4 ポップ・ロックウエル ジャズライブ | ホール | 2,700~3,500 | 130 | 主催:マシュマロレコード 共催:横浜市磯子区民文化センター |
| 13 | H24年12月14日(金) | 音のパレットVol.5 コント・ア・ラ・パス | ホール | 3,000~4,000 | 116 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 14 | H25年2月28日(木) | 音のパレットVol.6 チェコフィル・ストリング・カルテット | ホール | 3,500~4,000 | 213 | 主催:株メロス・アーツ・マネジメント 共催:横浜市磯子区民文化センター |
| 15 | H24年10月23日(火) | 金聖響×神奈川フィル・ストリングス | ホール | 無料 | 357 | 主催:(財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団 共催:横浜市磯子区民文化センター |
| 16 | H24年12月8日(土) | 大久保 宙 パーカッション・ソロライブ | ホール | 1,800~2,000 | 223 | 主催:有限会社アイコニクス 共催:横浜市磯子区民文化センター |
| 17 | H24年5月20日(日) | 吉本興業創業100周年記念イベント神奈川100ライブ囲碁将棋58市町村制覇ツアー「お暇なら来てよね。根建の地元だよ」 | ホール | 1,800~2,000 | 206 | 主催:井よしもとクリエイティブエージェンシー 共催:横浜市磯子区民文化センター |
| 18 | H24年5月11日(金) | 秋満義孝ジャズコンサート | ホール | 2,300~3,000 | 256 | 主催:マシュマロレコード 共催:横浜市磯子区民文化センター |
| 19 | H24年4月14日(土) | ハーモニカ・ライナーズ | ホール | 2,500~3,000 | 164 | 主催:(有)アーツ・アイランド 共催:横浜市磯子区民文化センター |

■芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(市民文化活動支援)

| NO. | 開催日 | 事業名 | 会場 | 入場料・受講料(円) | 入場者数(名) | 主催、共催など |
|-----|------------------------------|----------------------------------|----------|---------------|---------|------------------------------------|
| 1 | H24年4月28日(水) | 杉劇リコーダーズ第2回記念演奏会 | ホール | 300~700 | 280 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 2 | H25年3月17日(日) | リコーダーフェスティバル in杉劇 Vol.6 | ホール | 無料 | 254 | 主催:横浜市磯子区民文化センター 特定非営利活動法人チーム杉劇 |
| 3 | 通年 | 杉劇リコーダーズ2012 | リハーサル室 | 15,000~24,000 | 42 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 4 | 通年 | 杉劇たまたまばこ | 市内、区内各施設 | 無料 | | 主催:横浜市磯子区民文化センター 特定非営利活動法人チーム杉劇 |
| 5 | H24年9月1日(土) ~H25年3月31日(日) | 杉劇一坪ギャラリー | ロビー | 500 | | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 6 | H24年7月20日(金) ~H25年2月9日(土) | 杉田劇場開館8周年記念事業 杉劇☆歌劇団ワークショップ&お披露目 | 杉田劇場全館 | 300~500 | 320 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |

■芸術文化活動の支援、協働及び創造性を育む機会の提供(市民協働推進)

| NO. | 開催日 | 事業名 | 会場 | 入場料・受講料(円) | 入場者数(名) | 主催、共催など |
|-----|---------------------------------|---|------------------|------------|---------|--|
| 1 | H24年10月18日(木) | ISOGO ドリームフェア 『振り込み詐欺』の防犯寸劇・杉田劇場&磯子警察合同音楽祭 | ホール | 無料 | 200 | 主催:神奈川県磯子警察署、横浜市磯子区民文化センター |
| 2 | H24年11月23日(金) ~H24年11月24日(土) | 劇団「横綱チュチュ」第9回公演 | ホール | 700 | 1,080 | 主催:劇団「横綱チュチュ」 共催:横浜市磯子区民文化センター 協力等:[協力] イマージュISOGO、杉田劇場と歩む区民の会 |
| 3 | H24年7月15日(日) | イマージュISOGO 2012 | ホール | 1,500 | 299 | 主催:イマージュISOGO実行委員会、横浜市磯子区民文化センター 協力等:[協力] NPO法人夢・コミュニティ・ネットワーク、劇団「横綱チュチュ」、磯子マガジン |
| 4 | H24年6月30日(土) ~H25年3月31日(日) | 杉劇ちよこつとカフェ | リハーサル室 会議室 | 100 | 40 | 主催:横浜市磯子区民文化センター 特定非営利活動法人チーム杉劇 |
| 5 | H24年9月18日(火) ~H25年2月21日(木) | 横浜市芸術文化教育プラットフォームによる学校プログラム | 屏風浦小学校 山王台小学校 | 無料 | 123 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 6 | H25年2月9日(土) | 杉田劇場開館8周年記念 杉田劇場冬まつり2012 | 全館 | 無料~500 | 708 | 主催:横浜市磯子区民文化センター、杉田劇場と歩む区民の会 協力等:[協力] 地元企業、団体 |

■芸術文化活動拠点の開発及び運営

| NO. | 開催日 | 事業名 | 会場 | 入場料・受講料(円) | 入場者数(名) | 主催、共催など |
|-----|---------------|---------------------------------|-----|------------|---------|--|
| 1 | H24年8月25日(土) | 杉田劇場夏まつり2011 | 全館 | 無料~1,000 | 956 | 主催:横浜市磯子区民文化センター 協力等:[協力] 神奈川県磯子警察署、株式会社ヤマハミュージック東京 横浜店ほか |
| 2 | H24年5月24日(木) | 劇団若獅子結成25周年記念公演「白野弁十郎」 | ホール | 4,000 | 74 | 主催:劇団若獅子 共催:横浜市磯子区民文化センター |
| 3 | H24年10月30日(火) | 劇団若獅子結成25周年記念公演「無法松の一生」「殺陣 三番叟」 | ホール | 6,000 | 115 | 主催:劇団若獅子 共催:横浜市磯子区民文化センター |
| 4 | 通年 | 平成24年度 杉劇@助っ人隊 | - | - | - | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 5 | 通年 | 平成24年度 杉田劇場 スマイルクラブ運営事業 | - | 1,200 | 230 | 主催:横浜市磯子区民文化センター |

■芸術文化資源の収集、保存及び活用

| NO. | 開催日 | 事業名 | 会場 | 入場料・受講料(円) | 入場者数(名) | 主催、共催など |
|-----|---------------|---|------------|------------|---------|------------------------------------|
| 1 | H25年10月21日(金) | 第27回いそご文化資源発掘隊 旧川合玉堂別邸 直木三十五を知る歴史散策会 | 二松庵 長昌寺 | 200 | 20 | 主催:横浜市磯子区民文化センター 特定非営利活動法人チーム杉劇 |

■芸術文化に関する情報の収集及び提供

| NO. | 開催日 | 事業名 | 会場 | 入場料・受講料(円) | 入場者数(名) | 主催、共催など |
|-----|------------------------------|----------------------------------|----|------------|---------|------------------|
| 1 | H24年4月1日(日) ~H25年3月31日(日) | ひよこメール倶楽部 | - | - | - | 主催:横浜市磯子区民文化センター |
| 2 | H24年4月1日(日) ~H25年3月31日(日) | 杉田劇場メールマガジン いそご文化通信★「杉田のメルがま」 | - | - | - | 主催:横浜市磯子区民文化センター |

横浜市磯子区民文化センターの管理運営に関する基本協定書 決算説明書

| 【収支明細】 | | (単位：円) |
|----------------------|--|-------------|
| 会計科目 | | |
| 収入合計 (A) | | 151,752,905 |
| 指定管理料収入 | | 122,350,000 |
| 利用料金収入 | | 20,450,600 |
| 事業収入 | | 6,332,028 |
| その他収入 | | 2,620,277 |
| 支出合計 (B) | | 159,178,910 |
| 人件費 | | 73,420,626 |
| 給料手当 | | 26,623,331 |
| 福利厚生費 | | 5,023,367 |
| 非常勤職員報酬 | | 8,611,120 |
| 臨時雇賃金 | | 3,079,380 |
| 委託費支出(舞台スタッフ) | | 19,162,000 |
| 退職給付引当資産支出 | | 10,921,428 |
| 管理費 | | 66,598,752 |
| 修繕費支出 | | 610,470 |
| 光熱水料費 | | 15,997,921 |
| 負担金支出 | | 32,558,965 |
| 委託費 | | 17,431,396 |
| 事業費 | | 10,973,620 |
| 臨時雇賃金 | | 0 |
| 旅費交通費(職員) | | 12,000 |
| 旅費交通費(アルバイト) | | 0 |
| 通信運搬費 | | 422,186 |
| 旅費交通費(その他) | | 2,400 |
| 消耗品費 | | 312,119 |
| 印刷製本費 | | 334,982 |
| 賃借料 | | 334,378 |
| 保険料 | | 1,000 |
| 租税公課 | | 17,400 |
| 負担金支出 | | 29,000 |
| 委託費 | | 8,973,283 |
| 支払手数料 | | 43,330 |
| 雑費 | | 491,542 |
| 事務費 | | 8,185,912 |
| 旅費交通費(職員) | | 191,250 |
| 通信運搬費 | | 633,059 |
| 消耗什器備品費 | | 8,681 |
| 消耗品費 | | 944,847 |
| 印刷製本費 | | 198,069 |
| 賃借料 | | 1,387,130 |
| 保険料 | | 33,240 |
| 租税公課 | | 2,440,300 |
| 支払手数料 | | 90,971 |
| 雑費 | | 89,565 |
| 雑損失 | | 2,800 |
| 事務局への繰入金支出 | | 2,166,000 |
| 収支差額 (C) = (A) - (B) | | ▲ 7,426,005 |